

まけるな35

大久保北中学校 35 回生
学年通信 NO13
2020 年6月 29 日(月)

○「まず心を学べ」

剣は心なり 心 正しからざれば 剣また正しからず
剣を学ばんと欲するものは まず心を学べ

この言葉は、私が小学校1年生のから通っていた剣道教室で覚えたものです。当時の自分は意味もあまり考えず、剣道の先生が「覚えなさい」と言われたので、素直に覚えただけでした。

そして、今の仕事に就き、自分が生徒に何を教え、何を育むのかと悩んだ時、ふとこの言葉を思い出しました。

「剣」の部分は、いろいろな語句を当てはめることができます。「歴史」や「音楽」などの教科だったり、野球やサッカー、バスケットなどの「スポーツ」「部活」だったり。

どんなことでも上達するには「心」の成長が大切で、まずは「心」を鍛え、学ぶことが必要だ、と私は解釈しています。

2年生のみなさんは、勉強や部活動などたくさん頑張っていますね。勝敗や成績にこだわることも、もちろん大事ですが、「心」が成長しているかにもこだわりを持ってほしいです。そのために、この通信のタイトル「まけるな」を意識して生活をしてください。



○通信タイトル「まけるな35」の意味【再掲】

「負けるな」というそのままの意味と、みんなに大切にしてもらいたい4つの言葉の頭文字を組み合わせています。35は35回生です。

ま マナーを守ろう 場に応じた礼儀、あいさつ、態度、行動をする
け けじめをつけよう 時間を守り、規則正しい生活をする
る ルールを守ろう 社会や学校のきまり、ルールを守る
な 仲間を大切にしよう 仲間(学級、学年、部活など)を大切に、思いやりを持つ

○本校 トライやる・ウィークについて

以前の学年通信で「11月に延期。1日間実施。」とお伝えしましたが、明石市内のトライやる・ウィークについて、市教委から次のように連絡がありました。

「地域の事業所では活動せず、学校主体で活動を行う」

昨今の状況を考慮して地域事業所での活動は実施できません。昨年度から計画し、参加する事業所も決定していましたが、非常に残念です。楽しみにしていた人も多いと思いますが、これまでと同じような形での実施ができません。

今後、トライやる・ウィークの趣旨に則した活動を検討していき、詳細が決まり次第お知らせします。



○県教委より トライやる・ウィークについて

令和2年度 地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」に関するメッセージ
中学2年生の皆さんへ

新型コロナウイルス感染症の影響は、様々なところで現れています。皆さんにとっては学校に行けない状況が続いたり、地域では店が臨時休業となったりしました。このような状況の中、従来の仕事ができなくても、あきらめずに頑張っている人がいます。医療関係者においては、感染リスクを背負いながらも感染者を救うために日々奮闘されています。

これまで経験したことのない事態に、様々な立場で知恵を絞り、協力し、行動しています。一人一人が社会の一員として、自分にできることを発見したり、協力したりして状況を変えていくことでこの大変な事態を乗り越えようとしています。今、このような社会情勢の中で、地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」を実施する意味を考えてほしいと思います。社会の一員として社会に関わる機会を通して、自分一人では解決することが困難な問題にも対応できる力を身に付けて欲しいと思います。人とつながることの大切さを改めて実感して欲しいと思います。地域の方と一緒に活動したことは大きな財産になります。

地域によっては、日数が短くなることもあるかもしれませんが、皆さんが地域の方と一緒に活動したことは大きな財産になります。そして、これからも、学校の教育活動だけでなく、地域や社会に関わる活動で、将来の生き方を考える機会が多くあります。ふるさと兵庫での学びを生かし、将来、活躍してくれることを期待しています。

令和2年6月 兵庫県教育委員会

○自主学習ノート 集計 ※6月26日まで